

一般社団法人情報サービス産業協会 御中

「技術・人材連携を通じたグローバルサウスとの共創事業
（優秀なIT・AI人材獲得に向けた人材活躍プラットフォーム事業）」

プログラムのご案内（募集開始前_事前のご案内）

2026年4月16日

< Confidential >

Deloitte.
デロイト トーマツ
Together makes progress

 **Talendy**
By Tech Japan



アジェンダ

事業全体の概要

雇用促進イベントのご紹介

インターンシッププログラムのご紹介

実施スケジュール

全体概要

日本経済の持続的成長、技術革新の起爆剤として期待されるグローバルサウス諸国の高度人材の活用をより活発化させるべく、雇用促進イベントやインターンシップを展開します

本事業実施の背景

背景

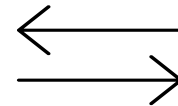
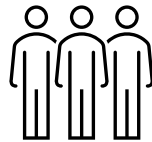
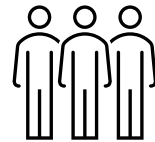
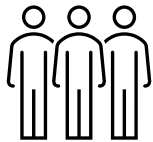
- 日本の国際競争力維持・強化には、世界的なエンジニア不足と人材争奪の激化を踏まえ、インドを始めとしたグローバルサウスの高度人材の受入れ拡大が不可欠だが、関心はあっても実行に踏み出せていない企業が多く存在

目的

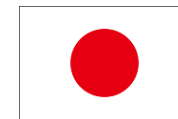
- グローバルサウスの優秀なエンジニア人材と日本企業の出会いの接点、雇用・就労の観点で互いに挑戦できる機会として雇用促進イベント・インターンシッププログラムを提供し、本課題に取り組む日本企業の活動を促進すること

グローバルサウス諸国の高度エンジニア人材

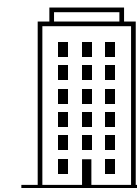
インドやASEANなどのアジア地域のほか、アフリカ、中南米、東欧地域含むグローバルサウス諸国の学生



機会・費用面での支援



日本企業



- 日本企業に対する認知度の向上
- 日本企業での雇用体験機会の提供

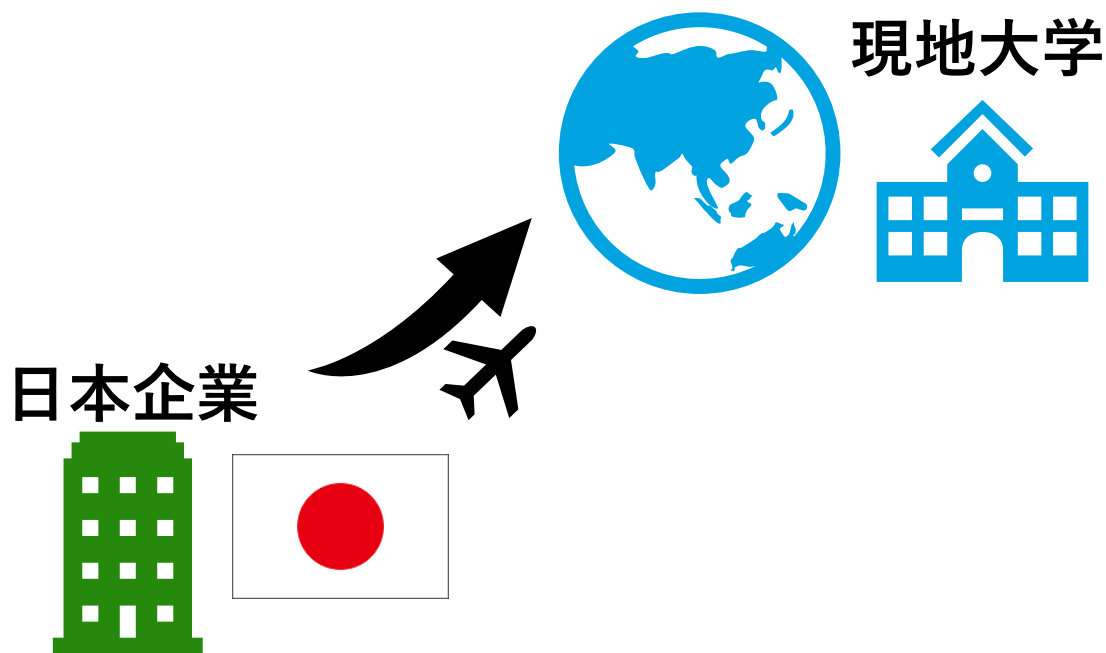
- グローバルサウス諸国の高度エンジニア人材採用に取り組む日本企業に対する支援を提供

本事業では、雇用促進イベントとインターンシップのプログラムの2つを実施する予定です

本事業の概要

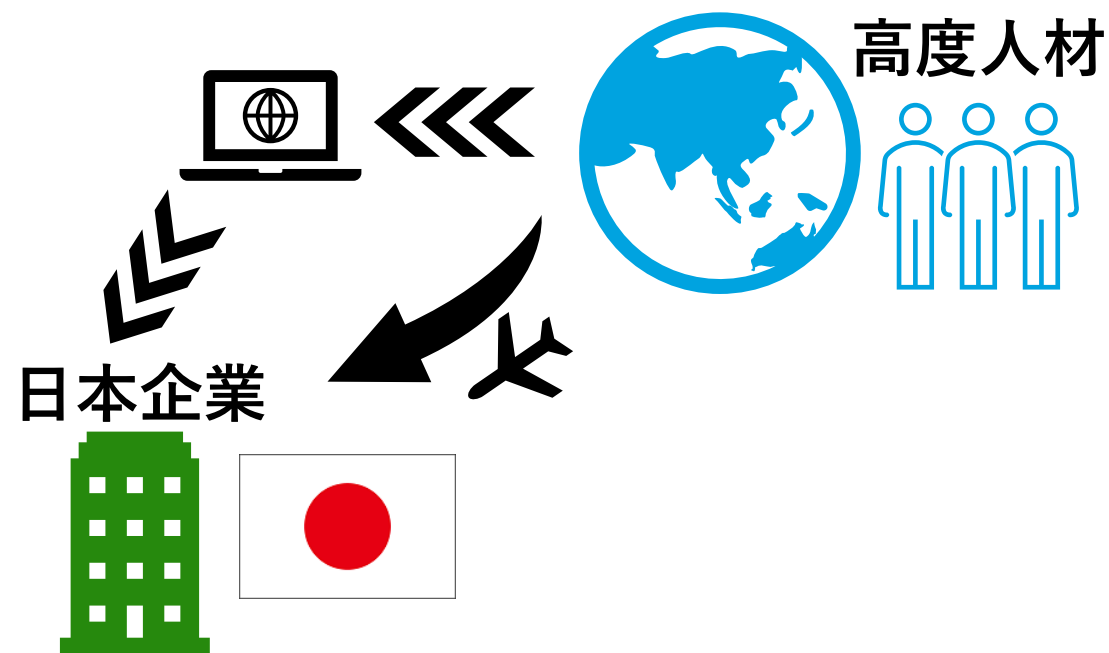
雇用促進イベント（2026年8~10月 開催予定）

- グローバルサウス各国の現地Top大学にて開催する日本企業と現地学生の交流イベント。日本企業での就業への関心を喚起し、インターン応募を喚起



インターンシッププログラム（2026年8~12月 開催予定）

- グローバルサウス各国の優秀な学生と日本企業をオンラインでマッチングし、インターンシッププログラムを実施することで就労・雇用を促進する




雇用促進イベントのご紹介

雇用促進イベントは8~10月にかけてアジア地域4カ国で計7回開催を予定しており、参加する日本企業を49社募集します。また、現地の学生は総計1400人以上を想定しています

雇用促進イベント概要

IITを始めとした、各国トップクラスのIT/AI・半導体等エンジニアリング系大学を訪問

開催国	実施回数	実施内容	規模	訪問都市(調整中)
インド 	4回	1回：3泊4日  <ul style="list-style-type: none"> キャンパスツアー 企業プレゼン 経験者談共有 企業と学生のラウンドテーブル ⋮ 	1回あたり ① 日本企業 7社 ② 現地学生 200~400人 ③ 訪問大学数 2校	・ラジャスターン州 ・ウッタル・プラデーシュ州 ・オリッサ州 ・タミル・ナードゥ州
バングラデシュ 	1回			・ダッカ
スリランカ 	1回			・コロンボ ・モラトゥワ

その他アジア地域で1回 実施 = 合計7回 14大学で実施

1回あたり3泊4日のスケジュールを組み、現地大学2校の学生に対して事業説明や交流会を行います

雇用促進イベントプログラム例

目的

日本企業就業への関心を喚起し、インターン・採用応募層を形成

概要

現地大学と連携して1日のイベントを行い、学生向けにプログラム紹介と同行企業との交流し、インターンへの応募意欲を喚起

スケジュール (1回あたり)

	1日目	2日目	3日目	4日目
午前中	日本から現地への移動	大学Aとの交流会	大学Bへ移動	日本へ帰国
午後		学生向け事業紹介・企業ピッチ	学生向け事業紹介・企業ピッチ	

昨年度(インド)の様子



現地大学生と日本企業の交流会の様子

現地学生向けセミナーの様子



参加企業は、企業のプレゼンテーションや学生との交流を通じて、求める学生への認知度向上、インターンへの応募獲得をいただける機会として活用いただけます

1日のスケジュール (例)

会場	時間	項目
大学会議室	10:30 - 11:15	就職支援部署／大学教員との交流セッション
キャンパス内	11:15 - 12:30	キャンパスツアー
食堂	12:30 - 13:30	ランチ・ネットワーキング
セミナーホール	13:40 - 14:00	開会、挨拶
	14:00 - 14:20	プログラム紹介・日本、日本企業の就業地域としての魅力紹介
	14:20 - 15:45	企業プレゼンテーション（各10分）7社
	15:45 - 16:00	日本企業でインターンシップ経験者もしくは就業経験者による体験共有
	16:00 - 16:10	インターンシップ登録プラットフォームの紹介
	16:10 - 16:15	写真撮影
教室	16:15 - 18:00	企業と学生のラウンドテーブル・課題解決型ディスカッション等
	18:00 -	閉会（別途現地企業との交流会等を企画）

昨年度の雇用促進イベントの様子を一部ご紹介します

BITS Pilani・IIT Gandhinagarでの啓発イベントの様子

BITS Pilani校



IIT-Gandhinagar校



昨年度の雇用促進イベントの様子を一部ご紹介します ～ラウンドテーブル

Anna 大学でのラウンドテーブルの様子



昨年度の雇用促進イベントの様子を一部ご紹介 ～学生プロジェクト紹介・記者会見・懇親会等

IIT Guwahati – 学生プロジェクト紹介・記者会見・懇親会

学生プロジェクト紹介

- 仮想通貨の投資予測モデルや、クリケットのベストチームをAI予測するゲーム等、オリジナリティあふれる学生のプロジェクトを展示



記者会見

- 地元新聞社やテレビ局に対して、高山審議官より地理的戦略性の観点等を踏まえたGuwahatiと日本の交流の重要性について説明が行われた



懇親会

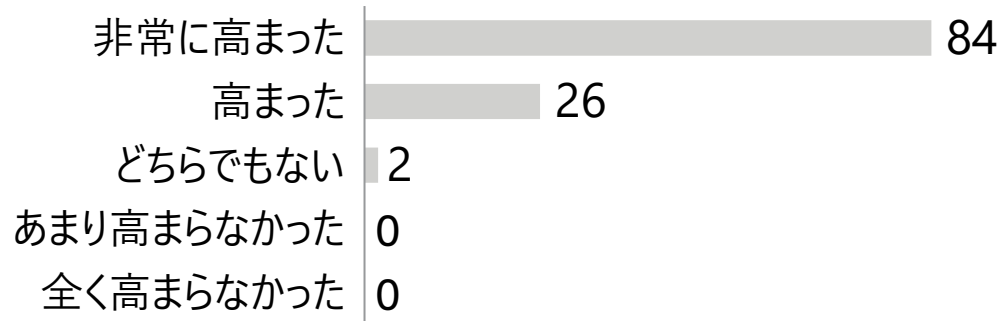
- ランチやディナーで、参加者が学生と同じテーブルにつき交流
- 笛や踊り等を通じて、本イベント参加者への感謝を改めて伝えられた



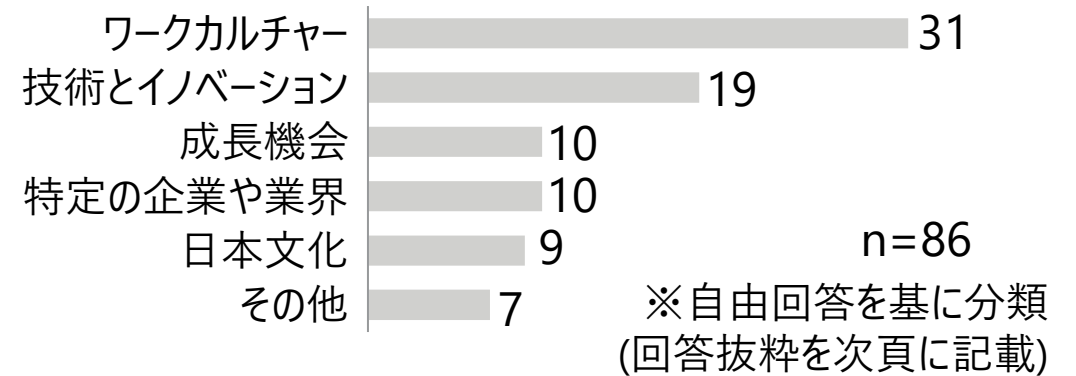
イベントを通じて、日本企業と出会った多くの学生が日本企業でのキャリアにポジティブな反応を示しました

過去参加者の声

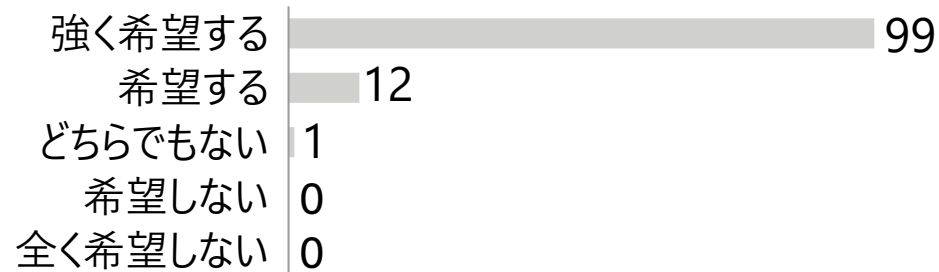
このイベントは、日本企業でのキャリアを目指す意欲を高めましたか？



もし意欲が高まった場合、日本や日本企業のどのような点に魅力を感じましたか？（自由回答）



今日のイベントで出会った企業を含め、日本企業でのインターンシップや正社員としての就職を希望しますか？



- ・イベント参加学生数（およそ）：250名
- ・アンケート回答数：112名（2026年卒：112名）

Anna大学での学生アンケートより

雇用促進イベントでは、以下の要領でご参加いただく企業の募集を行う予定です。

雇用促進イベント参加要領

参加対象の企業

- 1ツアーあたり7社、計49社の参加枠
- 応募多数の場合は事務局にて選考の上、決定
 - インターンシッププログラムへの参加意向がある企業を優先して選考

プログラムでの 支援内容

- ツアー1名分の旅程手配、及び参加に係る渡航費・現地宿泊費・現地バス等移動費用
- 1企業最大3名まで。(追加2名分は自社負担。旅程の手配は事務局にて対応可)

インターンシッププログラムのご紹介

グローバルサウス諸国の優秀な学生と日本企業をオンラインでマッチングし、インターンシッププログラムを実施することで就労を促進します

インターンシッププログラムの概要

募集対象

- IT・AI・半導体等の先端分野のほか、理工系分野の専門性を活かして活躍できる職種での人材獲得を目指す日本企業および現地日系企業

インターンシップ実施期間

- < 対面開催 > 2026年10月～2027年2月のうち原則1ヶ月半、ただし企業・インターン双方の合意により2週間～2ヶ月も可
※対面での受入れが難しい企業はオンラインにて開催も可能、期間は2026年9月～2027年2月のうち原則1ヶ月、ただし企業・インターン双方の合意により2週間～1ヶ月も可

インターン対象者

理工系分野（IT・AI・半導体等）を学ぶグローバルサウス諸国（インドやASEANなどのアジア地域のほか、アフリカ、中南米、東欧地域含む）の学生等（卒業後3年以内含む）※
※OECD DACList掲載国(中国を除く)の国籍を有し、海外に居住していること

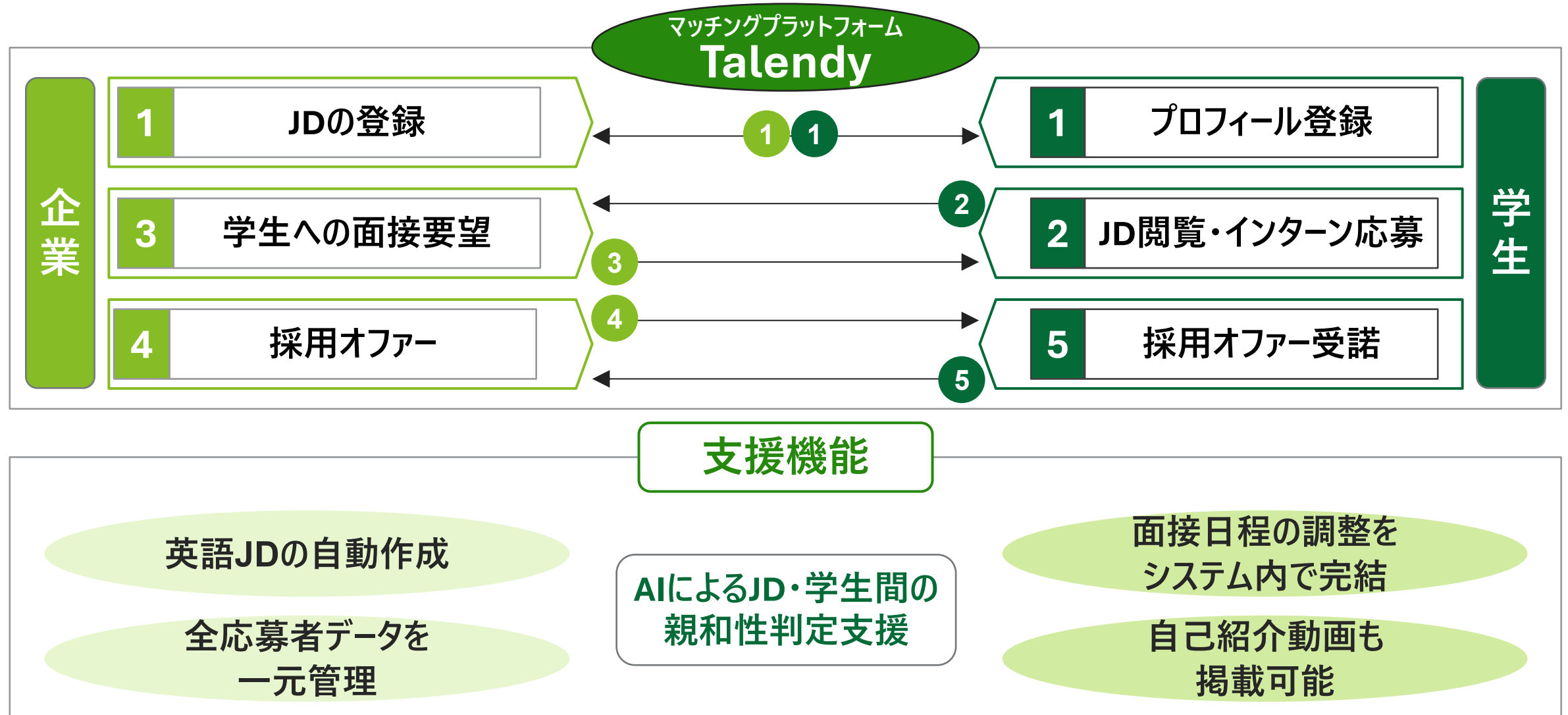
受入企業の主な要件

- インターンシップ実施を通じてグローバルサウス人材を活用し、具体的なミッションや業務に対してインターンと共に協働できること
- 上記の募集対象に該当するインターン生を受け入れる体制を整備できること
- 高度外国人材の採用に意欲的な企業
- 日本企業の場合、日本国内に法人格を有し、日本国内に本社・本部が所在する企業等であること
- 現地日系企業の場合、「日本企業」又は「日本国籍を有する者」からの出資比率が2/3以上の企業であること
- 受入企業において業務に関する実践的な就業体験を提供できること

※但し、業界団体、非営利法人、自治体を除く

企業はマッチングプラットフォーム“Talendy”の使用により優秀な学生と効率的にマッチングすることができます

マッチングイメージ図



コーディングテストおよび専門スキル登録を実施し、成績上位者や専門スキル保有者とのマッチングが可能となっています。また、インターン内定後は就労に向けた各種フォローアップも実施いたします

募集からアフターフォローまでのポイント

マッチング前のポイント

コーディングテスト実施

専門スキル登録

優秀な人材と優先的にマッチング

- コーディングコンテストの成績上位者や専門スキル保有者を優先的にマッチング
→ 優秀な人材を獲得可能
- 上記以外においても、コーディングコンテスト受験者はプラットフォーム上の企業紹介動画を視聴し、自主的に応募が可能
→ 幅広い候補者から応募を獲得
- 専門スキルを登録した受験者は、掲載企業情報を随時閲覧し、公開JD（求人票）へ直接応募可能
→ スキル適合度の高い人材から継続的に応募を獲得



インターン内定者に対するフォロー

1. 事前研修

- インターンの目的・目標の事前確認
- ビジネスマナーや日本での生活ルールについて
- 危機管理やコンプライアンスに関する事項

2. インターン開始直前オリエンテーション

- 日本での生活面の不安を解消するオリエンテーションを実施

3. インターン期間中の追加支援

- 学生の適応状況や企業からのフィードバックに基づき、必要に応じて追加支援を検討

インターン生が来日の間、安心して企業インターンシップに参加できるように、24時間体制での生活・医療のサポート、および渡航に必要な情報提供・手配サポートを実施します

インターンシップの実施及び管理：対面インターン向けサポート

安全・危機管理のための24時間サポート

- 対面インターン参加者向けには日本滞在中、アプリおよび電話による生活相談・医療通訳の依頼が可能な24時間サポート専門サービスによるサポートを実施する
- 日常生活に役立つ情報や非常時の災害情報もアプリにてプッシュ通知が可能で、参加者により安心して日本での生活を送れるようにサポートする
- 課題が発生した場合の緊急連絡窓口を事務局に設置し、迅速なフォローが提供できる体制を構築する

▼アプリイメージ▼



渡航に必要な手続きのサポート

- 左記の安全・危機管理サポート以外にも、対面インターン参加者が円滑に日本へインターンシップ参加できるように、渡航や宿泊などについて、事務局による費用の負担に加え、手配サポートも提供する

宿泊場所

受入れ先企業の希望も考慮の上、事務所近くのマンション・マンションなど情報提供・手配

往復航空券

受入れ先企業・インターン生と調整の上、日本への往復航空券を手配

査証取得

各地大使館に提出必要のある書類を作成・収集しインターン生のビザ取得をサポート

保険加入

滞在期間中が対象となる海外旅行保険、賠償責任保険や企業業務上必要な保険加入を手配

通信環境手配

滞在期間中に必要な通信手段（SIMカード・貸出WiFiなど）を手配

インターンシップの実施にあたり発生する以下の費用について、一部の費用を本プログラムにて負担する予定です

インターンシップの実施及び管理：費用面等のサポート内容（仮）

対面開催

- 1社につき原則5名まで。
- 実施期間：標準1.5カ月（企業と学生の調整により2週間～2か月で調整可）

対象	支援内容
全企業共通	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 査証取得サポート ✓ 通信環境手配サポート ✓ 保険料（海外旅行保険、身元信用保険、賠償責任保険、約定履行費用保険） ✓ 滞在費に係るその他諸費用の一部支援
国外在住の高度外国人材を雇用していない日本企業等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 滞在中の宿泊費 ✓ 往復航空券費 ✓ 人材育成支援費（2千円程度/人・日）※1
国外在住の高度外国人材を雇用している日本企業等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 往復航空券 ✓ 人材育成支援費（2千円程度/人・日）※1

オンライン開催

- 1社につき原則5名まで。
- 実施期間：標準1ヶ月。（企業と学生の調整により2週間～1か月で調整可）

対象	支援内容
全企業共通	<ul style="list-style-type: none"> ✓ オンライン参加のインターン生の環境整備費用（1千円程度/人・日）。
国外在住の高度外国人材を雇用していない日本企業等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人材育成支援費（2千円程度/人・日）※1
国外在住の高度外国人材を雇用している日本企業等	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人材育成支援費（2千円程度/人・日）※1

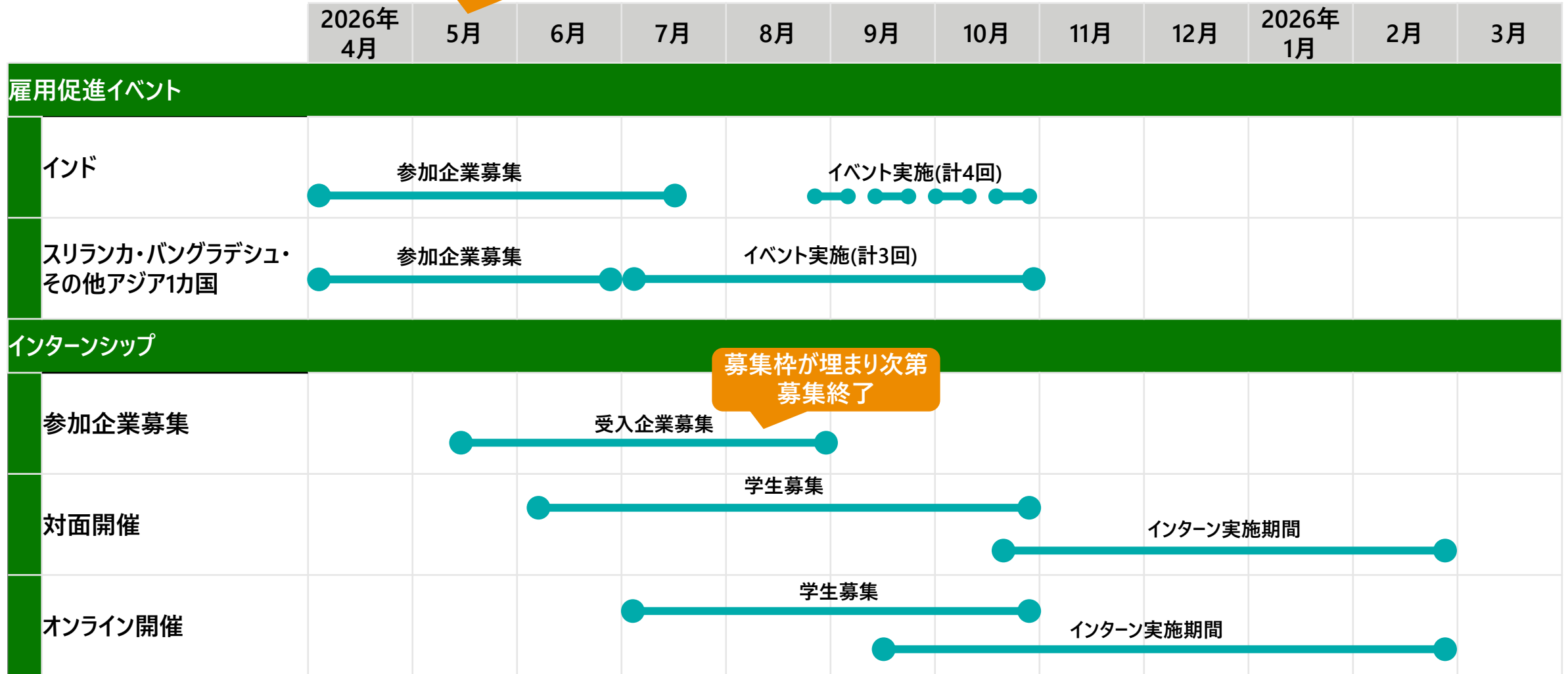
※1 インターンシップ受入企業に対する人材育成支援費（2千円程度/人・日）は中堅・中小企業にのみ支援することとする。（日本企業の現地法人の場合は、日本本社が中堅・中小企業等である場合に支給。）

実施スケジュール

雇用促進イベント、およびインターンシッププログラムの正式な応募要項、及び申込は5月上旬頃に募集を開始する予定です

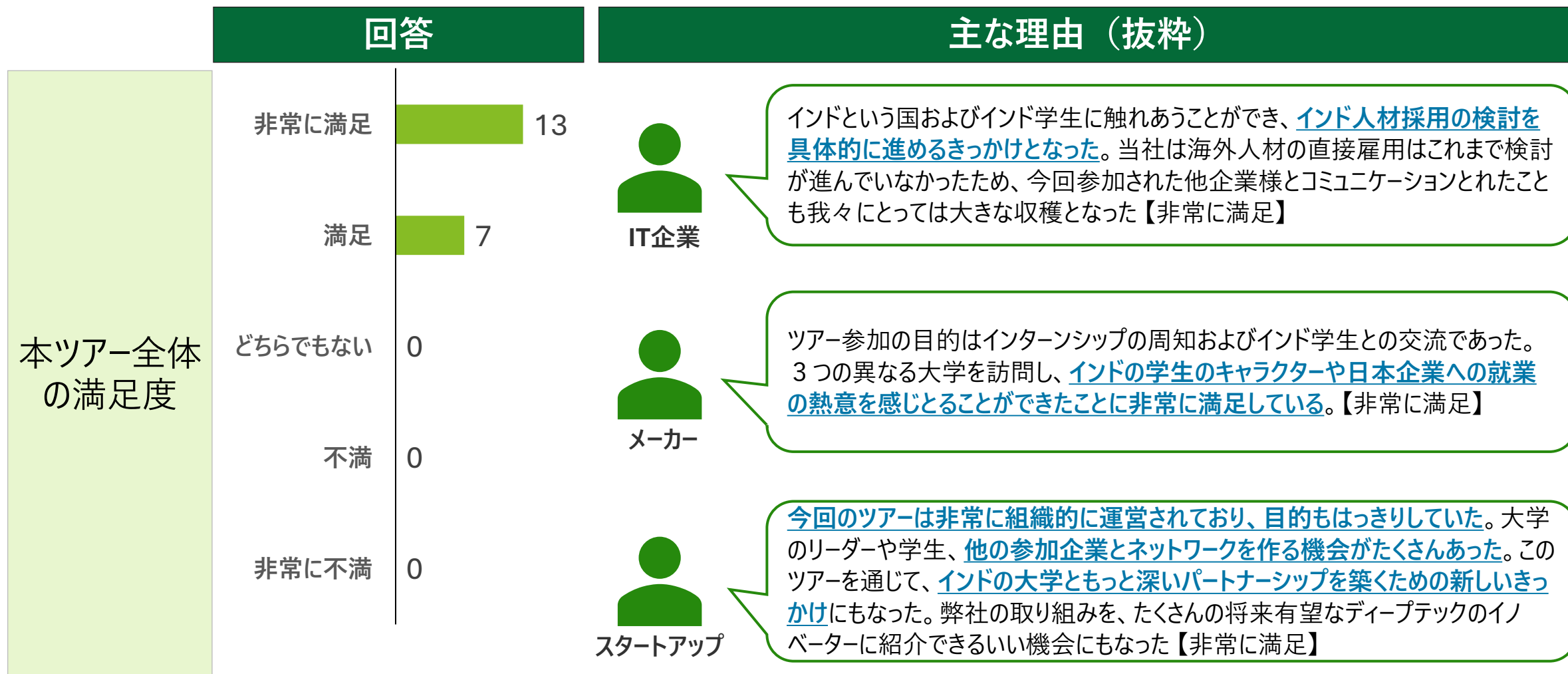
事業実施スケジュール（予定）

5月上旬頃
参加企業募集開始



参加した全ての企業が雇用促進イベント全体の満足度を「満足」以上として評価し、高度人材の採用検討のきっかけとなったことや、ネットワークの構築ができたことを高く評価しています

昨年度の雇用促進イベント参加者の声（抜粋）



参加した学生は「日本企業の労働倫理」や「品質とイノベーション」など魅力に感じていただき、受入企業もインターン生のスキルを高く評価しています

昨年度のインターンシッププログラム参加者の声（抜粋）

日本で働く魅力に関するコメント



学生

日本の企業の労働倫理が好きで、そのプロフェッショナルイズムのあり方をとても高く評価しています。日本は先進技術が発展し続ける国で、そこに参画したいと思っています。



学生

そこには多くの機会があり、私はそれに取り組むための必要なスキルを備えていると考えています。日本の文化と労働倫理を尊敬しています。品質とイノベーションを重んじる専門的な環境で学び、成長するチャンスだと捉えています。



学生

日本は技術・エンジニアリング分野で、イノベーション、品質、規律の面で高い評価を得ています。日本の働く文化を体験し、国際的なチームと協働することに関心があります。日本で働くことで、異なる専門環境から学びつつ、技術的にも成長できると思います。

インターン生のスキル・質に関するコメント

アサインした課題に対し、短い期間で概ね期待した成果を出した。
非常に優秀かつ繊細な心を持ったメンバーに参画いただきました。



受入企業

組織全体に「多様性を受け入れる土壌」ができたことで、当初は言語や文化の壁に戸惑う社員もいましたが、共に働く中で「違い」を「新しい視点」として楽しめるようになりました。海外市場への意識も高まり、社内が活性化したことは、何物にも代えがたい成果だと感じています。



受入企業

日本語がほぼ話せないためコミュニケーションが取りづらい場面も見られたが、研究者としてのスキルは申し分なかった。



受入企業

アンケートのご協力をお願いします

参加者アンケートのご案内

アンケート



URL: <https://forms.office.com/e/F9rjAw054t>

お問い合わせ窓口

ご質問など、お気軽にご連絡ください

事務局代表E-mail:
gs_hr_exchange_support@tohmatu.co.jp

Deloitte.

デロイト トーマツ

デロイト トーマツ グループは、日本におけるデロイト アジア パシフィック リミテッドおよびデロイト ネットワークのメンバーである合同会社デロイト トーマツ グループならびにそのグループ法人（有限責任監査法人トーマツ、合同会社デロイト トーマツ、デロイト トーマツ 税理士法人およびDT 弁護士法人を含む）の総称です。デロイト トーマツ グループは、日本で最大級のプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従いプロフェッショナル サービスを提供しています。また、国内30都市以上に2万人超の専門家を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト、www.deloitte.com/jpをご覧ください。

Deloitte（デロイト）とは、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（“Deloitte Global”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）のひとつまたは複数を指します。Deloitte Globalならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体であり、第三者に関して相互に義務を課しまたは拘束させることはありません。Deloitte Globalおよびその各メンバーファームならびに関係法人は、自らの作為および不作為についてのみ責任を負い、互いに他のファームまたは関係法人の作為および不作為について責任を負うものではありません。Deloitte Globalはクライアントへのサービス提供を行いません。詳細はwww.deloitte.com/jp/aboutをご覧ください。

デロイト アジア パシフィック リミテッドは保証有限責任会社であり、Deloitte Globalのメンバーファームです。デロイト アジア パシフィック リミテッドのメンバーおよびそれらの関係法人は、それぞれ法的に独立した別個の組織体であり、アジア パシフィックにおける100を超える都市（オクラホマ、バンコク、北京、ベンガルール、ハノイ、香港、ジャカルタ、クアラルンプール、マニラ、メルボルン、ムンバイ、ニューデリー、大阪、ソウル、上海、シンガポール、シドニー、台北、東京を含む）にてサービスを提供しています。

Deloitte（デロイト）は、最先端のプロフェッショナルサービスを、Fortune Global 500®の約9割の企業や多数のプライベート（非公開）企業を含むクライアントに提供しています。デロイトは、資本市場に対する社会的な信頼を高め、クライアントの変革と繁栄を促進することで、計測可能で継続性のある成果をもたらすプロフェッショナルの集団です。デロイトは、創設以来180年の歴史を有し、150を超える国・地域にわたって活動を展開しています。“Making an impact that matters”をパーパス（存在理由）として標榜するデロイトの約46万人の人材の活動の詳細については、www.deloitte.comをご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、Deloitte Touche Tohmatsu Limited（“Deloitte Global”）、そのグローバルネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびそれらの関係法人（総称して“デロイト ネットワーク”）が本資料をもって専門的な助言やサービスを提供するものではありません。皆様の財務または事業に影響を与えるような意思決定または行動をされる前に、適切な専門家にご相談ください。本資料における情報の正確性や完全性に関して、いかなる表明、保証または確約（明示・黙示を問いません）をするものではありません。またDeloitte Global、そのメンバーファーム、関係法人、社員・職員または代理人のいずれも、本資料に依拠した人に関係して直接または間接に発生したいかなる損失および損害に対しても責任を負いません。Deloitte Globalならびに各メンバーファームおよび関係法人はそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。



IS 669126 / ISO 27001



BCMS 764479 / ISO 22301

IS/BCMSそれぞれの認証範囲はこちらをご覧ください

<https://www.bsigroup.com/clientDirectory>

